

神戸市のイノベーション創出の取組

KOBE 
UNESCO City of Design





2016 Starting

全国に先駆け、スタートアップ支援事業開始

米国VC“500Global”と連携したアクセラレーションプログラムから始まり、官民協働プロジェクト“Urban Innovation Kobe”では自治体が抱える課題解決にも取り組んできました。

Achievements

支援社数延べ500社以上、資金調達額140億円の累積実績

2020年には内閣府グローバル拠点都市に選ばれ、国連機関UNOPSのインキュベーションセンターが開設するなど、これまでの着実な成果が評価され、着々と支援環境が整い始めています。

2025 Vision

イノベーションが生まれやすい環境をつくり、革新的に課題を解決

千差万別なスタートアップの実情にあう支援で、支援社数1000社を目指します。グローバルメンター制度など、挑戦する人の”機動力”を高める支援環境を提供していきます。

スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市

スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム

東京都、川崎市、横浜市、和光市、つくば市、茨城県など



Central Japan Startup Ecosystem Consortium

愛知県、名古屋市、浜松市など



大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム

大阪市、京都市、神戸市など



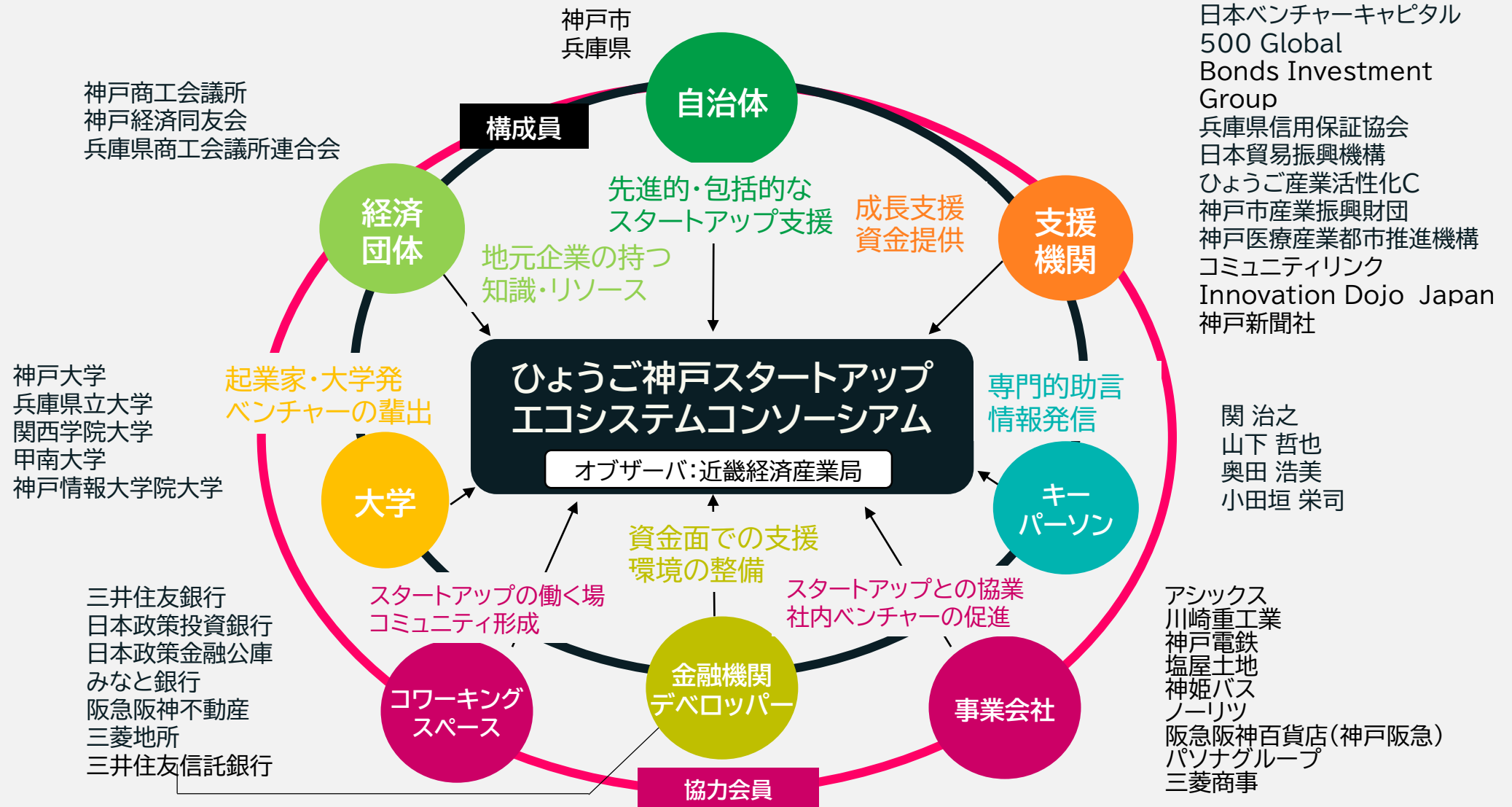
福岡スタートアップ・コンソーシアム

福岡市など



エコシステム形成推進主体について

ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアムを通じて構成員のリソースを集結し、世界に対抗できるエコシステム形成のための全方位的な取り組みを実施



みんなで応援！チャレンジャー交流会

↳令和3年度は（第1回）12月21日、（第2回）2月10日の2回開催
スタートアップ・起業家によるアイデアピッチを行い、コンソメンバーからフィードバックを得る会
・ネットワーキングの機会
・協業の可能性を模索
大学生から資金調達済のスタートアップなど様々な登壇者が参加

↳令和4年度は（第3回）を6月27日に開催したところで、
今後も定期的に実施していく予定



＜第1回＞登壇者

- ①神戸市外国語大学 外国語学部生
- ②甲南大学 マネジメント創造学部生
- ③XR CITY
- ④グローリー株式会社
- ⑤Scheme Verge株式会社
- ⑥株式会社アプリズム

＜第2回＞登壇者

- ①関西学院大学 法学部生
- ②株式会社Gab
- ③株式会社ブイクック
- ④株式会社うちゅう
- ⑤スカイリンクテクノロジーズ株式会社
- ⑥株式会社ShimaFuji IEM
- ⑦株式会社T-ICU

＜第3回＞登壇者

- ①株式会社Motivate
- ②Hinome合同会社
- ③株式会社中山事務所
- ④株式会社いま-みらい塾
- ⑤株式会社AMDlab
- ⑥株式会社Unwind
- ⑦株式会社ニューラルポート

主なスタートアップ支援事業

育成

500Globalによる起業家育成プログラム

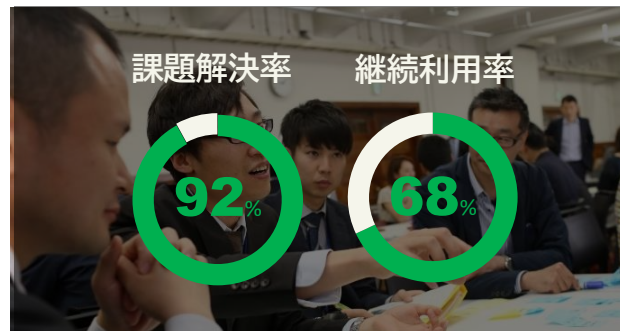
- ・ シリコンバレーVCと自治体による起業家育成
- ・ 年間100社を支援対象、半数以上が海外から
- ・ 過去5年間で約140億円の資金調達に成功



実践

Urban Innovation KOBE

- ・ スタートアップと市職員による協働
- ・ 自治体課題の解決を目指す、実証プロジェクト
- ・ 年間12社を支援対象とする



挑戦

UNOPS Innovation Centre

- ・ 国連機関と連携、SDGs等の国際的な課題解決を目指す
- ・ 起業経験の深い各分野のエキスパートによる個別指導
- ・ 毎年15社程度の入居者を募り、事業成長・海外進出を支援



主なスタートアップ支援事業

共創

ビジネススクエアANCHOR KOBE

- ・ スタートアップや医療産業都市進出企業、神戸の地場ものづくり企業、大学など、様々な知が集結・交流し、新たな価値を創発する場
- ・ 産学官連携の実践的なプログラムを実施
- ・ 21年4月開設



資金

ひょうご神戸スタートアップファンド

- ・ 県市協調による官民連携ファンドを創設※21年3月
- ・ 総額10億円超、期間10年(延長あり)
- ・ グローバル拠点都市のスタートアップ育成プログラムなどと連携し、広く世界からひょうご神戸に集まり、成長するスタートアップに投資を行う



Urban Innovation KOBE

スタートアップと行政職員が協働する課題解決プロジェクト



協働

行政との協働による
実証実験の実施



メンタリング

事業計画のプランニングや行政
との付き合い方のアドバイス

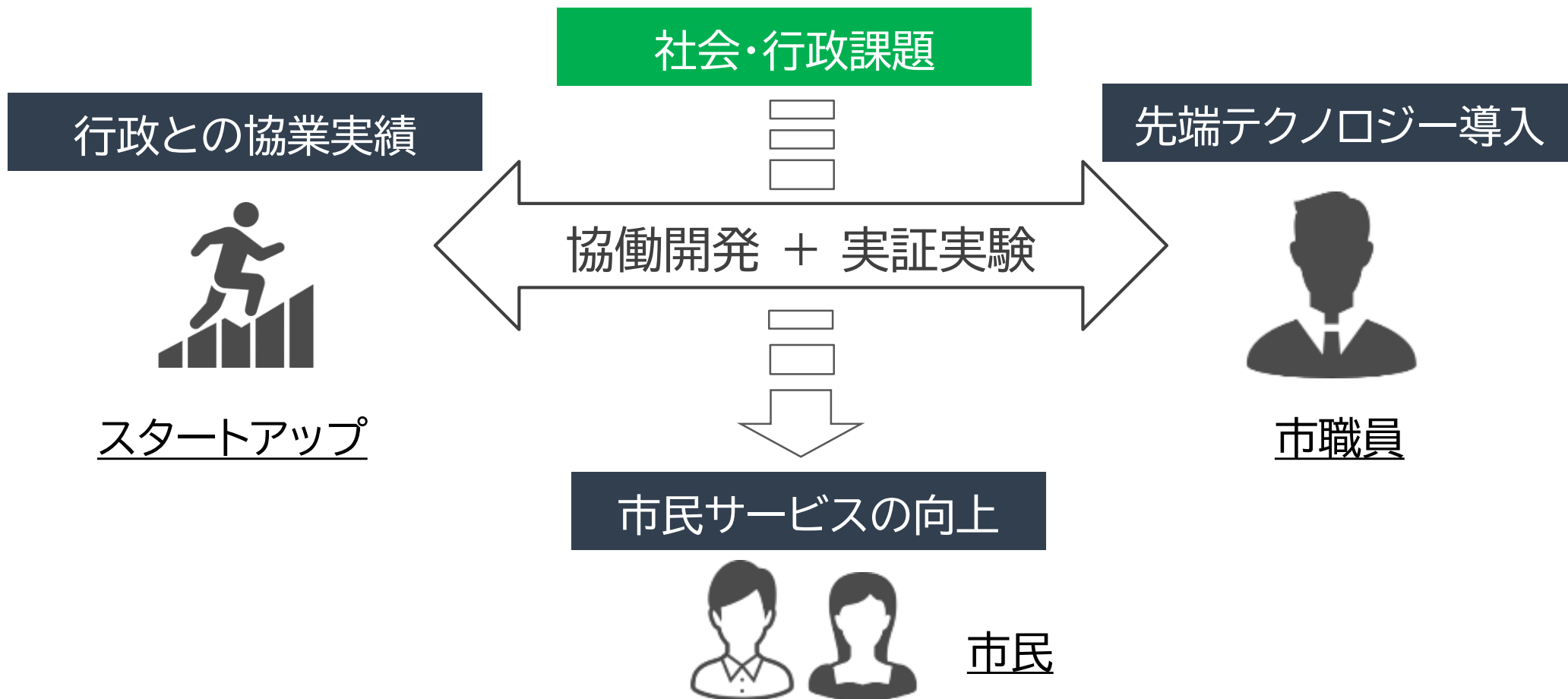


他都市への展開

ピッチイベントにおいて他
都市へのサービス展開へ

Urban Innovation KOBE(UIK) とは？

柔軟な発想や優れた技術力を持つ「スタートアップ」と
社会・行政課題を詳しく知る「市職員」が協働して
最適な解決手法を見出し、サービスの構築・実証を目指す



行政職員

- 先進的アイデアの収集
- スタートアップとのネットワーキング
- 事業の効果検証
- 仕様書からの開放・調達期間の短縮
「調達の改革」
- 職員のITリテラシーの向上

スタートアップ

- 行政課題の理解向上
- 概念実証。使われるサービスの開発
- 神戸市との取引による信用・実績作り
- メディアへの露出
- 神戸市による調達

UIK過去件数

合計件数 52件

- L 2022年 5件
- 2021年 11件
- 2020年 9件
- 2019年 13件
- 2018年 14件

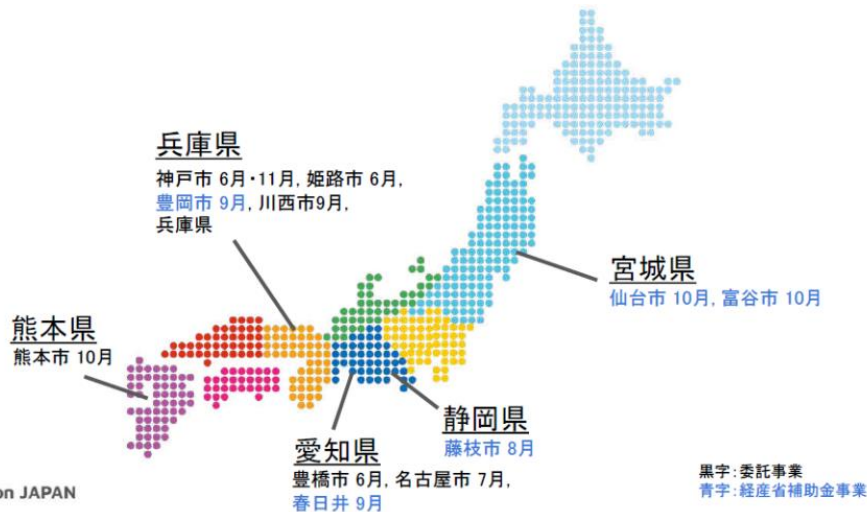
課題解決率 93%

継続率 70%

- ※ 社会実装も含む
- ※ 内神戸市からの調達率:56%

UIJが展開している自治体

18 自治体



- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| 兵庫県 | 名古屋市 | 大垣市 | 春日井市 |
| 山口県 | 姫路市 | 川西市 | 小牧市 |
| 愛知県 | 豊橋市 | 豊岡市 | 神戸市 |
| 仙台市 | 岡崎市 | 藤枝市 | |
| 岡山市 | 熊本市 | 富谷市 | |

方向性の決定

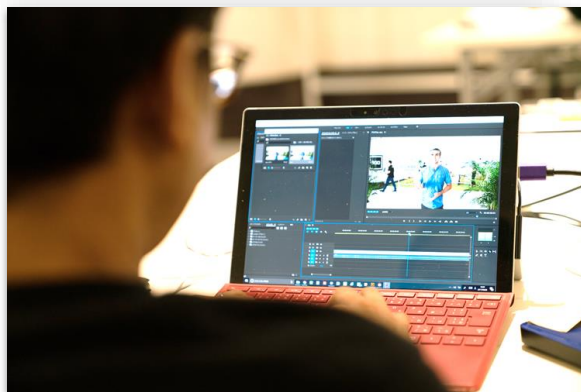


週一度程度の打ち合わせ

- ・実証実験のゴールの決定
- ・週一回のミーティング
- ・データ収集
- ・市民インタビュー、現場視察など実施

1ヶ月目

α版の開発



サービス調整・実証準備

- ・実証の具体的内容確定
- ・現場での実証準備
- ・ユーザーフィードバック

2ヶ月目

実証準備・調整



実証の調整・広報

- ・関係各所との調整
- ・実証実験参加者の呼びかけ
- ・UX等の微調整
- ・プレスリリースの準備

3ヶ月目

実証実験



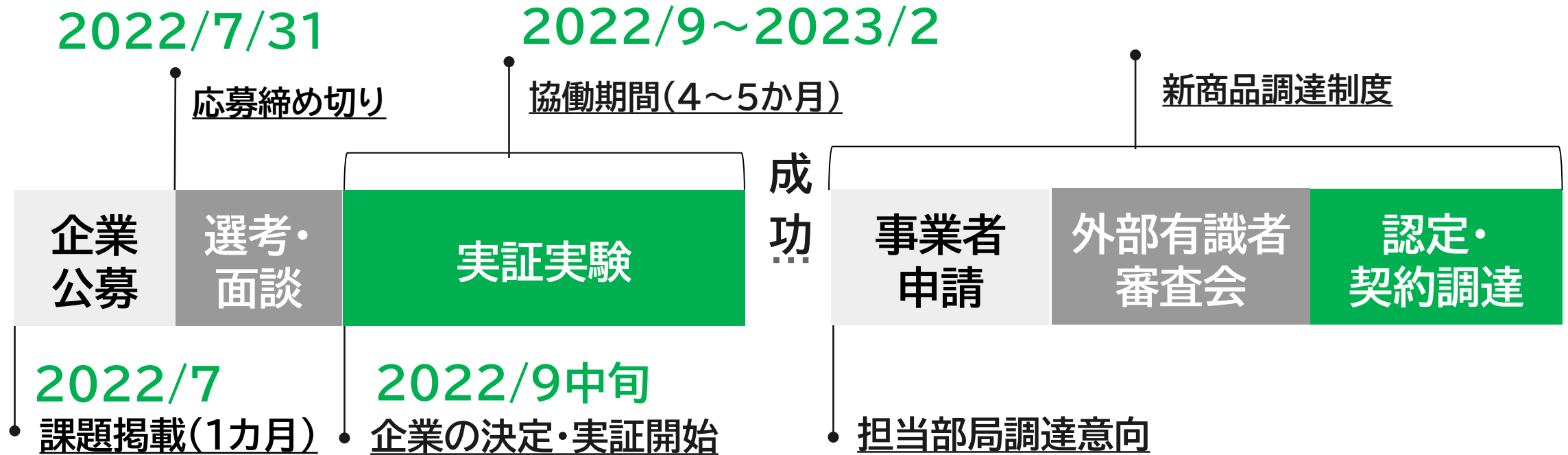
実証と報告まとめ

- ・実証実験の立ち会い
- ・データ調査、アンケート
- ・場合によっては追加の実証実験
- ・報告書作成

4ヶ月目

実証実験の支援金の支給(神戸市の場合、50万円)

➡ 投資としての実証実験



- 地方自治法施行令第167号の2第4号
 「新商品の生産により新たな事業分野の開拓を図る者として普通地方公共団体の長の認定を受けた者」規定活用
 UIKによって新たに開発されたアプリやシステムを、神戸市が随意契約できる調達制度を令和元年11月創設。
- 調達に関する公平性と公正性を担保するために、外部有識者による審査会において、
 ①課題への適合性 ②価格の適正性 について審査を行ない、認定。

スマートロックとICTで 学校施設をより身近に、より利用しやすく！（2021年上期）

夜間の体育館を対象とした、Web上での利用予約受付機能と校門・体育館の電子キー（パスコード）管理機能を一体的に運用できるシステムの構築及び運用。



実証内容

3つの中学校でまずはクローズドで、過去小学校開放利用者向け実証を12月から実施。
→ 交付金を活用し、4月以降から9区50校へ導入を目指し実証校を拡大導入。

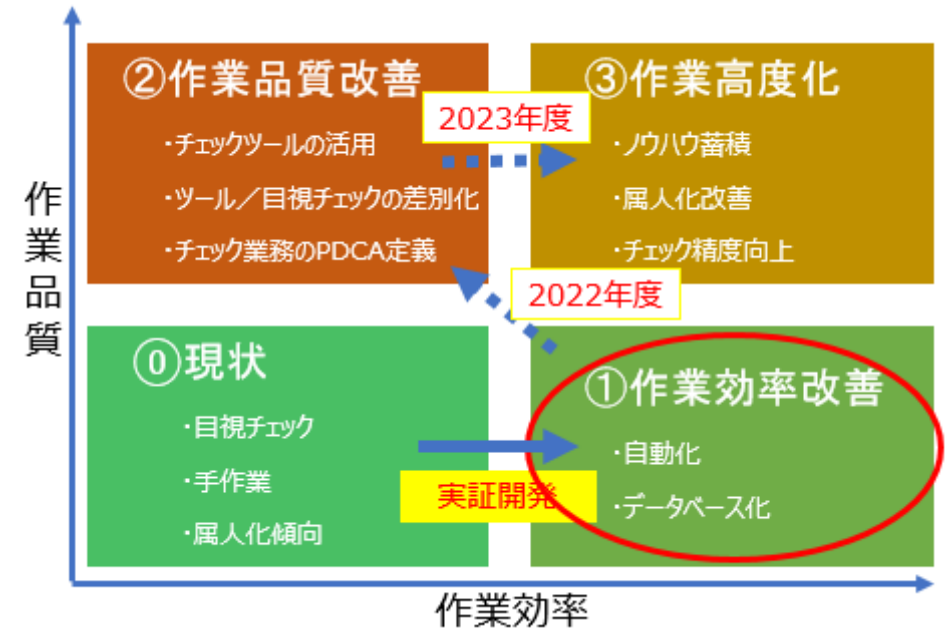
目視チェックはもう限界…！建築工事の積算チェック作業の効率化ツール実証開発！（2021年上期）

図面や仕様書に基づき工事費を算出する作業（積算チェック）業務では、これまで高い専門性、システム知見と膨大な作業量が必須であった。今回、RPA等で判断の正誤を自動化するプログラムを実証開発。

目視でのチェック



エラー検出
自動化



実証内容

目視している積算チェック作業の一部自動化・効率化により、「業務負荷の軽減」「チェック漏れ・抜けの防止」を実現。精度を高めるために令和4年度も施行実施。

神戸市FAQサイトのUX/UIの実証検討(2020年下期)

課題

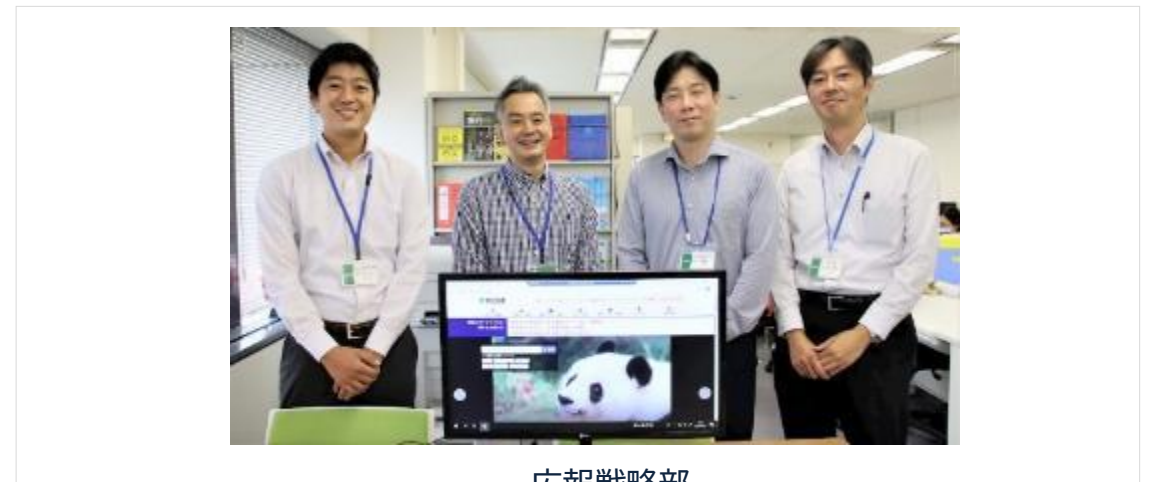
使いやすいWEBサイトを構築し、電話での問い合わせ件数を減らしたい

提案

WEBサイト利用者が自身で自己解決できるFAQ機能を構築する



(株)アスコエパートナーズ



広報戦略部

実績

👉 既存のFAQサイトより**85%**が満足度が高いと回答

衛星データを活用した遊休農地の効率的な把握(2020年下期)

課題

農地利用状況の効率的な把握により現地調査の回数を削減し、遊休農地解消に注力したい

提案

衛星画像を利用した遊休農地を自動検出するアプリケーションを活用し現地調査回数を削減する



サグリ(株)

×



農業委員会事務局

実績



農地の状況を指数化



調査農地の絞り込みやリスト作成により現地調査の時間的制約の軽減へ

紙による開発許可申請の電子化実証開発(2019年下期)

課題

紙ベースで実施されている開発許可申請を電子化し業務効率化を図りたい

提案

申請受領後のプロセスを電子化し、業務効率化



あっとクリエーション(株)



都市局指導課

実績

- 👉 電子申請ツールの開発完了、**234時間**/年の業務時間削減
- 👉 神戸市スマート申請システムを活用し、事務所・自宅等からの電子申請受付を開始

Thank you For your Time!

神戸のスタートアップ情報をお届けしております！

Website

www.kobestartuphub.com

Phone number

078-322-0240

Email Address

new_industry@office.city.kobe.lg.jp

